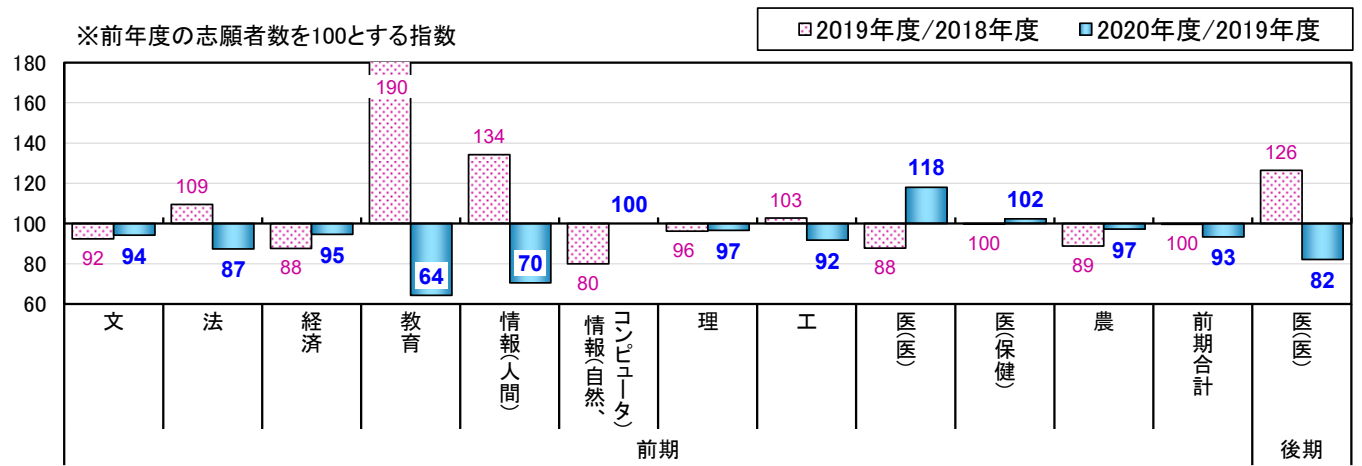


## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

名古屋大：前期は文系が大幅減少、理系はやや減少

前期：-314人 後期：-12人



入試変更点 第1段階選抜実施：医(医)〈前〉 約3.5倍→実施しない

**COMMENT** ※ ( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は314人(93)のやや減少。文理別では、文系は203人(85)の大幅減少、理系は111人(97)のやや減少。後期は医(医)(愛知県内枠)のみの募集だが、前年度大幅増加の反動で、12人(82)の大幅減少。志願倍率も13.4倍→11.0倍にダウン。

### ＜前期日程＞

- 文(94)は、やや減少で2年連続減少。
- 法(87)は、前年度増加の反動で減少。
- 経済(95)は、やや減少で2年連続減少。
- 教育(64)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も4.5倍→2.9倍にダウン。
- 情報(88)は、2年連続減少。学科別では、前年度の反動から(人間・社会情報)(70)は大幅減少、(コンピュータ科学)(108)は増加。一方で、(自然情報)(88)は2年連続減少。
- 理(97)は、2年連続やや減少。
- 工(92)は、2年ぶりに減少。学科別では、系統への人気が高い(電気電子情報工)(107)のみやや増加で、他の6学科は減少。特に、(物理工)(79)、化学生命工(84)の2学科が大幅減少。
- 医(医)(118)は、2段階選抜の廃止と前年度減少の反動で大幅増加。志願倍率も2.8倍→3.3倍にアップ。
- 医(保健)(102)は、前年度並。専攻別では、(保健/作業療法)(127)、(保健/検査技術)(117)は大幅増加、一方で、(保健/放射線技術科学)(92)、(保健/理学療法)(92)は減少。
- 農(97)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(応用生命科学)(105)がやや増加。他の2学科は減少で、(生物環境科学)(88)の減少が目立った。